



JA岐阜厚生連

中濃厚生病院

専攻医
募集案内

日本 どまんなか プログラム

豊富な症例が君の未来を創造する

内科

総合診療

麻酔科





地域医療から急性期まで

じっくり学べるといふこと

専門医を目指す人たちへ

病院長からのメッセージ

病院長
鷹津 久登

中濃厚生病院は内科、総合診療、麻酔科の専攻医を目指す人たちに、基幹病院としての専門養成プログラムを用意しました。岐阜県関市は日本の人口重心が位置する街ですので、「日本どまんなかプログラム」という名称にしました。関市、美濃市、郡上市、岐阜市北部、美濃加茂市西部など、長良川流域を中心とするおよそ15万人の人口をバックグラウンドとする医療圏の患者さんを日々診療しています。中濃圏域の救命救急センターを併設し、また臨床研修病院、僻地医療拠点病院、災害拠点病院でもあります。本プログラムの特長としては研修を行うのに十分なバックグラウンドの人口があるため、経験すべき幅広い症例を容易に経験することができます。また特に内科では、ある科をローテーション中であっても、自分が必要な症例があればローテーションの部門外の症例も経験できるようにし、スムーズな研修体制をつくります。

内科においては消化器内科、神経・血液内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌・代謝・腎臓内科、救急の各科専門医のもとでバランスのとれた研修ができます。またサ

ブスペシャリティの決まっている専攻医には早くから実践的な研修ができるようなプログラムも用意しています。連携病院については多数の病院と連携していますが、特に岐阜県総合医療センター、関中央病院、市立美濃病院などとの連携を選択すれば、引越しの必要がないと思われます。また卒後3年目であっても基本給、ボーナス等についても、いわゆる常勤待遇が受けられます。

総合診療では病院内での救急、小児、内科各科、病院での総合診療に加え、津保川診療所の指導経験豊富な医師による僻地診療研修が可能になっています。

麻酔科専門研修では、一般臨床麻酔から重症患者の集中治療、ペイン外来での疼痛治療まで経験可能であります。

最後に地域卒の先生方にとって当院は、岐阜圏域外に相当する病院であることも申し添えます。また連携病院として当院を選んでいただく先生にとっても、当院の比較的のんびりとした雰囲気研修ができるのではないのでしょうか。

余裕がありながら、しかし必要十分な症例経験を積める当院では是非専門医研修を受けてください。

概要

病院概要

開設者	岐阜県厚生農業協同組合連合会
所在地	岐阜県関市若草通5丁目1番地 Tel: 0575-22-2211 Fax: 0575-24-7139
名称	岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院
開設年月日	昭和23年1月10日
診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、心療内科、血液内科、腎臓内科、小児科、外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、内分泌内科、肝臓内科、消化器内視鏡内科、消化器外科、肝臓・胆嚢・膵臓外科、乳腺内分泌外科、神経小児科、呼吸器外科、病理診断科、歯科口腔外科
病床数	一般病床 402床、地域包括ケア病床 44床 緩和ケア病床 20床、感染病床 6床 救命救急センター 23床 合計 495床
関連施設(併設)	人工透析センター・健診センター・ 介護相談センター・訪問看護ステーション
敷地面積	66,446.1平方メートル
建築面積	13,982.11平方メートル
延床面積	41,956.2平方メートル

専攻医
募集案内



救命救急センター

開設年月日	平成12年8月1日
延床面積	2,528.00平方メートル
許可病床数	ICU(集中治療室) 8床※熱傷病床1床 CCU(冠状動脈疾患集中治療室) 3床 HCU(高度治療室) 12床
付属施設	ヘリポート(屋上設置)

経験豊富な
指導医たち



患者数 (平成29年度)

救急車搬送台数 3,164台

		内科	呼吸器外科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	麻酔科	耳鼻科
		外来患者	述べ患者数	104,205	530	10,334	11,515	43,316	8,389	7,655	15,578	10,299	5,826
	1日平均数	427.1	10.6	42.4	47.2	177.5	34.4	31.8	63.8	42.2	24.1	9.2	53.1
入院患者	述べ患者数	72,877	1,030	3,019	14,650	26,548	9,791	272	7,549	4,223	552	—	4,870
	1日平均数	199.7	2.8	8.3	40.1	72.7	26.8	0.7	20.7	11.6	1.5	—	13.3

内科



患者さんから感動を与え、
患者さんに感動を与えられる医師に



日々忙しく、与えられたdutyをこなすだけといった研修ではなく、主体的に患者さんに関わることを通して、患者さんと感動のやりとりができる医師に育ってほしいと思います。患者さんの初診・入院から退院・通院までを、一貫して主治医として関わる体制を作りましたので、責任を持って患者さんときちんと向き合う姿勢で積極的に研修してもらえれば、きっと医師となった喜びや達成感を感じられるものと思います。一緒に頑張りましょう。

プログラム責任者 [内科]

勝村 直樹

プログラム責任者
メッセージ

入院症例数
(2016年)

消化器	1,284例
循環器	1,006例
呼吸器	2,132例
内分泌・糖尿病	305例
神経	283例
血液	236例
腎臓	259例

指導医数
(基幹施設)

消化器内科	6名
循環器内科	4名
呼吸器内科	3名
内分泌・糖尿病内科	2名
神経内科	1名
血液内科	1名

高度なgeneralistを目指す専攻医とまだ将来目指したいsubspecialtyが決まっていない専攻医のための基本コース、将来目指すsubspecialtyが決まっており、早くからsubspecialty研修も並行して行いたい専攻医のためのサブスペシャリティ重点コースがあります。いずれも内科を6部門(1.消化器内科、2.神経・血液内科、3.循環器内科、4.呼吸器内科、5.内分泌・代謝・腎臓内科、6.救急)にわけ2~4ヶ月ずつローテートしてもらいますが、どの部門をローテート中であっても、自分が初期対応した症例や未経験症例などについては、ローテート部門外の疾患であっても主治医を務めます。基幹施設での研修は原則2年間で、この間に修了認定に最低必要な56疾患群160症例を経験出来るようにします。残り1年間を

専攻医の希望する連携施設で研修を行います。

(連携施設) 岐阜大学附属病院/※1岐阜県総合医療センター/岐阜市民病院/※2久美愛厚生病院/※2岐北厚生病院/※2西美濃厚生病院/※2東濃厚生病院/※2揖斐厚生病院/※1関中央病院/※1市立美濃病院/郡上市民病院/下呂温泉病院/金山病院/岐阜県北西部地域医療センター/津保川診療所

※1 中濃厚生病院と近い距離にある研修施設であるため、引越しをせずに研修を進めることができます。

※2 JA岐阜厚生連グループの病院であり、給与形態等の待遇が中濃厚生病院と同じになります。また、昇給についても引き継ぐことが可能です。

サブスペシャリティ重点コースの1例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器			神経・血液			循環器			救急		
2年目	内分泌・代謝・腎臓			呼吸器・膠原病・アレルギー			サブスペシャリティ 中濃厚生病院					
3年目	サブスペシャリティ 連携施設より選択						地域医療 連携施設より選択					

内容

1年目

- 総合内科・各ローテーション科の初診外来、各人固有の再診外来、4-6コマ/月の日当直、1回/週程度の平日時間外の救急外来
- JMECC受講、30疾患群・90症例以上の登録、15編以上の病歴要約登録

2年目

- 総合内科・各ローテーション科初診外来、各人固有の再診外来、4-6コマ/月の日当直、1回/週程度の平日時間外の救急外来
- 計60疾患群・180症例以上の登録、計29編の病歴要約登録

3年目

- 計70疾患群200症例の経験、地域医療の経験

当院の研修で取得可能(各学会の認定研修施設)なサブスペシャリティ領域専門医(内科系)

消化器病専門医:内視鏡検査は年間約6000例。消化器病センター・光学医療診療部があり、各種内視鏡治療から薬物療法まで経験できます。

肝臓病専門医:アンギオCT室、ナビゲーションシステム完備超音波装置あり、先端の肝癌治療が可能です。岐阜県肝炎診療専門医療機関です。

循環器病専門医:年間約600件のカテーテル検査と200件余の心血管インターベンション治療。心エコーや心臓リハビリの認定取得も可能です。

呼吸器病専門医:悪性腫瘍・感染症からアレルギー・自己免疫疾患まで経験できます。超音波気管支鏡下経気管支リンパ節穿刺法やFeNO、モストグラフ、さらに気管支サーモプラスティなど最先端の検査・治療が可能です。症例数も豊富です。

内分泌代謝科専門医:低Na血症、甲状腺クリーゼ、副腎クリーゼなど意識障害患者への対応を始め、内分泌専門医を取得するための知識・技術を修得します。

糖尿科専門医:ICUを始め全ての診療科より依頼される糖尿病患者の血糖管理や、ケトアシドーシス・高血糖抗浸透圧症候群・低血糖昏睡などの救急を学べます。

血液病専門医:クラス1のクリーンルームが3床あります。血球成分分離装置Optiaもあり、自己末梢血幹細胞移植を含む各種化学療法を施行しています。

がん薬物療法専門医:多くのがん症例があり、がん薬物療法の専門医・指導医が2名います。外来化学療法室も16床あり、緩和ケア病棟も20床あります。



総

合診療

疾病だけでなく

目の前の患者の人生を診る



総合診療科では、日常的な疾患に対する質の高い診療を行うだけでなく、患者さんを全人的に捉えていく視点が重要となります。そのためには「予防医学」や「公衆衛生」に及ぶ幅広い知識と経験が求められます。当プログラムでは、市街地に位置する当院を中心に近隣の中規模病院や山間部の無床診療所などの特徴の異なる施設と連携することで、豊富な疾患群と患者数をベースとした最高の研修環境をご提供できるものと自負しております。

プログラム責任者【総合診療】

森下 健太郎

プログラム責任者
メッセージ

Message

指導医数

中濃厚生病院	5名
郡上市民病院	1名
久美愛厚生病院	3名
津保川診療所	1名
美濃市立美濃病院	1名

へき地診療



3年間の研修期間中に診療所・中小病院における総合診療専門研修Ⅰ(※)と病院総合診療部門における総合診療専門研修Ⅱをそれぞれ6ヶ月以上、合計で18ヶ月以上行います。その他、必須領域別研修として内科12ヶ月以上、小児科3ヶ月以上、救急科3ヶ月以上行います。また、専攻医の希望に応じて余った期間に外科・整形外科・産婦人科・精神科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科などの研修を選択することも可能です。

このように一人の患者に対し様々な角度からアプローチする力を身につけることで、①内科外来診断②入院治療③訪問診療や看取り④簡単な外科的処置といった全人的な医療のできる守備範囲の広い総合医の育成を目指します。

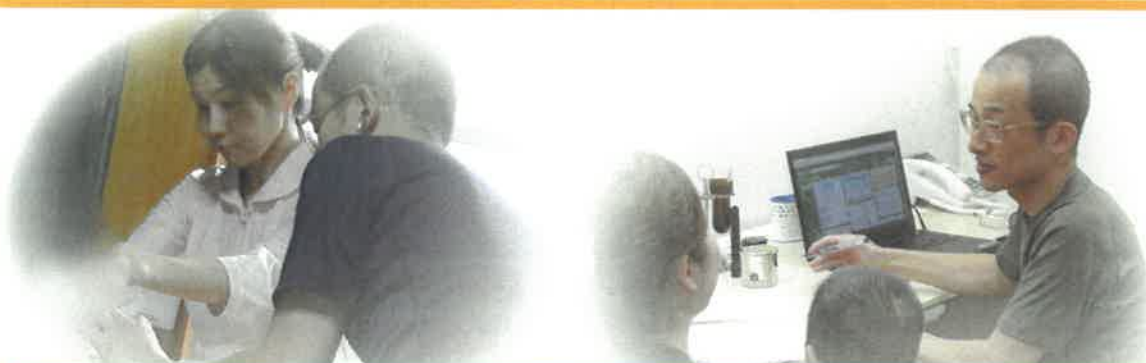
(※)連携施設

郡上市民病院、久美愛厚生病院、津保川診療所、美濃市立美濃病院

専攻医プログラムスケジュール(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
1年目	領域別研修:内科 (中濃厚生病院)12ヶ月											
2年目	領域別研修:救急 (中濃厚生病院)			領域別研修:小児 (中濃厚生病院)			総合診療専門研修Ⅱ (中濃厚生病院)					
3年目	総合診療専門研修ⅡまたはⅠ (基幹施設または連携施設)						総合診療専門研修Ⅰ (連携施設)					

その他の領域別研修(選択)については、同時研修を行った場合に可能



津保川診療所

管理者兼診療所長 廣田 俊夫

岐阜県関市の山間へき地、武儀・上之保地区に位置する地域唯一のへき地診療所です。地域住民のかかりつけ医として、乳幼児から終末期の在宅医療まで、科を問わない幅広い診療を行っています。乳幼児健診、特定健診などの各種健診、予防接種や健康教育をはじめとする予防医療、学校医、産業医活動などの地域保健活動、高齢者のみならずあらゆる世代への地域包括ケアと、幅広い保健・福祉・医療の活動に取り組んでいます。

また、当診療所は家庭医療学の研修施設として、構造化された教育プログラムを提供しています。



About

研修のための宿泊施設の有無:有
託児所の有無:無(地域保育所の利用が可能)

麻酔科

手術麻酔と

スーパーICUで

シームレスな周術期患者管理を学ぼう



プログラム責任者
メッセージ



当院麻酔科では、手術室における臨床麻酔、ICUにおける集中治療、外来におけるペインクリニックを各々の指導医・専門医のもとに診療しています。

臨床麻酔においては、多診療科の手術時の麻酔を一般麻酔から胸部外科麻酔まで行っています。手術麻酔においては、最新のモニタリングシステムや経食道心エコー等のテクノロジーを駆使して術中心機能評価を行っています。ICUでは、集中治療専門医を中心に専任医師、兼任医師が各診療科医師、看護師等と協力したチーム医療で重症患者の治療を行っています。

臨床麻酔、集中治療、救急医療、ペインクリニックの全般にわたる麻酔科診療としても、専門性を持ったサブスペシャリティにおいても、ともに働く情熱のある医師を求めています！

▶ プログラム責任者 [麻酔科]

赤松 繁

手術件数
(2017年)

手術室手術件数: 2,618例
麻酔科管理件数: 1,155例

手術部位別 開頭: 37例 開胸: 76例 開腹: 406例 頭頸部: 305例 胸壁・腹壁・会陰部: 34例
脊椎: 112例 四肢・骨盤・末梢血管: 183例 その他: 2例
集中治療室入室患者数: 436例
救命救急センター外来患者数: 11,346例
救命救急センター入院患者数: 5,966例

専攻医 募集案内

プログラム概要

麻酔科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心に、救急医療や集中治療における重症患者管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することを目的としています。

本プログラムは、中濃厚生病院を専門研修基幹施設とし、岐阜大学医学部附属病院を専門研修連携施設Aとして構成しています。本プログラムには岐阜県の2次医療圏の内、中濃医療圏、

岐阜医療圏の2つを含み、先進医療から地域医療に渡る幅広い医療ニーズをカバーします。専攻医は、共通して必要とする研修内容に加えて、各々の希望するキャリアプランに沿ったサブスペシャリティ(集中治療、救急医療、ペインクリニック)研修カリキュラムに参加することが可能です。

また、岐阜大学医学部附属病院プログラムの中で当院を専門医研修連携施設として研修することも可能です。

専攻医プログラムスケジュール 4年(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	中濃厚生病院											
2年目	岐阜大学											
3年目	中濃厚生病院						選択			中濃救命		
4年目	選択						中濃ICU			中濃厚生病院		



当院の研修で取得可能(各学会の認定研修施設)な
サブスペシャリティ領域専門医(麻酔科)

- 日本救急医学会救急科専門医
- 日本集中治療医学会集中治療専門医
- 日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医

連

連携となる 診療科

中濃厚生病院では、※14の診療科が他基幹施設の専門研修プログラムに連携施設として参加しております。優秀な指導医と豊富な症例、そして垣根のない各診療科間の繋がりにより最適な研修環境を提供しております。
※内科、総合診療、麻酔科も含む



連携施設としても
充実した研修を提供します

小児科

▶ 基幹型施設名

岐阜大学医学部附属病院

研修内容

- 関市、美濃市、郡上市およびその周辺地域など岐阜県中濃医療圏の中核病院として、プライマリケアから専門医療まで幅広く提供しています。
- 午前的一般外来は一部予約制とし、急性疾患を中心に紹介患者を積極的に受け入れ、病診連携に努めています。午後は予約制で各医師が専門外来を分担しています。病棟は急性疾患患者を中心に紹介患者を積極的に受け入れています。また、関市、武儀医師会との協力により初期夜間急病診療支援室を院内に設置し、小児救急医療にあたっています。
- 中濃圏域では数少ない発達神経症に対応できる医療機関として、臨床心理士・リハビリテーション部門と連携して診療にあたっています。
- 重症心身障害児・者へのショートステイ、デイケアにも積極的に取り組んでいます。
- 論文発表および全国学会・地方学会への参加・発表等の臨床研究、教育を積極的に行っています。研修医にも発表の機会を提供しています。

整形外科

▶ 基幹型施設名

名古屋市立大学

研修内容

整形外科は、外傷、脊椎疾患、関節疾患、手足の外科、スポーツ外傷等の診療を行っています。

手術件数は年間800-900程度で、徐々に増加傾向です。メンバーは9名で、活気があるのが特徴です。日本整形外科学会の研修施設であり、指導医は2名、専門医は3名、指導医2名はそれぞれ、日本脊椎脊髄病外科学会、日本リウマチ学会の指導医でもあり、脊椎、関節分野には力を入れています。手術室には3Dイメージやナビゲーションシステムを配備し、最先端の手術を行っています。当科は名古屋市立大学整形外科専門研修プログラムの関連病院ですので、一定の時期は名市立大病院での研修で、研修分野は骨軟部腫瘍、小児整形の分野になります。

外科

▶ 基幹型施設名

名古屋大学医学部附属病院／岐阜大学医学部附属病院／市立四日市病院／岐阜県立多治見病院／一宮市立市民病院

研修内容

外科全般の研修を行い、日本外科学会外科専門医を取得するのに必要な規定の修練実績を早期に積むことを目標としています。虫垂切除、ヘルニアなど一般外科手術およびそれらの鏡視下手術からスタートし、腹腔鏡下胆のう摘出術を経て、乳がん手術、各種消化器がん手術(開腹&鏡視下)、外傷、イレウス等の緊急手術を経験、修得して行きます。さらに呼吸器外科専門医の指導のもと呼吸器外科手術全般も同時に経験できます。専任医師が常駐する緩和ケア病棟の併設もあり、緩和医療も経験できます。

そして、比較的早い時期から指導医のもとで執刀医としてデビューし、豊富な症例数を経験していただけることが当科の特徴です。

産婦人科

▶ 基幹型施設名

岐阜大学医学部附属病院

研修内容

当病院は、いわゆる地方都市に立地しています。残念ながら、周囲の総合病院では、産婦人科医師不足により分娩業務の停止、手術・入院の停止など、産婦人科全般を扱うことができなくなっています。結果として、街の規模からすれば多数の産婦人科患者の治療を行うこととなります。良性疾患はもちろん、癌もやります。腹腔鏡だってやっています。緩和医療も対応します。経膈分娩から帝王切開など産科疾患も同様です。

そうは言っても、それなりに田舎ですから多忙を極めるブラックな職場ではありませんし、逆に退屈するほど症例が少ないこともありません。産科や婦人科全般の疾患を研修することができます。

耳鼻咽喉科

▶ 基幹型施設名

岐阜大学医学部附属病院

研修内容

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医2名を含む3名の医師で診療を行っています。当院は岐阜県中濃地域の中核的病院であり耳鼻咽喉科の症例数は多く、特に手術症例においては同規模の全国平均をはるかに上回る手術数をこなしています。鼓膜形成術、鼓室形成術、内視鏡下鼻副鼻腔手術、眼窩吹き抜け骨折手術、顔面骨折整復固定術、口蓋扁桃摘出術、口蓋垂軟口蓋形成術、喉頭微細手術、唾液腺手術、頭頸部悪性腫瘍手術など多岐にわたる手術を行っており、特に甲状腺手術、鼓室形成術などに重点を置いています。また、口蓋扁桃摘出術や内視鏡下鼻副鼻腔手術は症例数が多く、後期研修には最適と思われます。ナビゲーションシステムも導入されており、より安全な手術を心がけています。

頭頸部癌に対しては癌治療学会認定医のもと、放射線療法、化学療法、手術療法に対応しています。

泌尿器科

▶ 基幹型施設名

岐阜大学医学部附属病院

研修内容

泌尿器科では腎癌、膀胱癌、前立腺癌などの腫瘍性疾患、腎盂腎炎、膀胱炎、などの炎症性疾患、尿路結石、前立腺肥大症、過活動膀胱など様々な疾患の診断、治療を行います。また、ウロギネコロジーといい、泌尿器科と産婦人科の境界領域にある女性特有の疾患(骨盤臓器脱、尿失禁など)を取り扱う領域もあります。当科の特徴として前立腺癌の診断に最先端の技術を導入していることです。前立腺癌の診断は前立腺針生検により確定しますが、欠点としてこの検査は超音波ガイド下で行われるため超音波で癌病巣が描出されない場合は癌が見落とされることです。癌病巣の局在診断はMRIでなされ、MRIと超音波を融合させるMRI/US fusion biopsyという新しい方法はこの欠点を克服する優れた診断方法です。当科では本法を用いて前立腺癌診断を行い、良い成績をあげています。

救命救急センター

▶ 基幹型施設名

岐阜大学医学部附属病院

研修内容

救急診療部(ER+救命病棟)と集中治療部(ICU)から成ります。救急診療部については、年間の救急車受入れは約3,000台で、救急科専門医によるER型診療を行っているため、初療室では丁寧かつ濃厚な指導が受けられます。集中治療部については、集中治療専門医の指導のもと様々な重症患者のあらゆる全身管理が学べます。さらに、救急隊への教育(メディカルコントロール)や災害医療にも精力的に取り組んでいるので、救急科専攻医に必要な経験の多くを研修することが可能です。

病理

▶ 基幹型施設名

岐阜大学医学部附属病院

研修内容

2群専門研修連携施設である中濃厚生病院の病理学的検査には、病理研修指導医1名が常駐しております。中濃地区では最大の病床数を誇り、手術での病理検体数、消化管内視鏡検査時の生検検体をはじめとする生検検体数では十分な症例数を期待できます。また、岐阜大学からの剖検への協力システムを設け、いつでも剖検が可能であることから剖検の症例経験、剖検数の獲得も期待できます。画像診断が進歩した近年において、病理医が担う意義・必要性を伝えながら確かな病理技術を習得できるよう最適な研修環境を提供します。

眼科

▶ 基幹型施設名

岐阜大学医学部附属病院

研修内容

眼科では、まず眼科という特殊性のある医療のなかで、外来、病棟、手術および臨床研究を数多く経験していただくことにより、専門性の高い医療技術を習得していただくことができます。日本眼科学会専門医制度の研修指定病院ですので、本院で眼科研修することにより将来において日本眼科学会の眼科専門医の試験を受験でき、その取得が最終目標であります。そのための行動目標(専門医試験受験ガイドライン)に沿って研修していただきます。

● 一般初期救急医療に関する技能の習得

● 眼科臨床に必要な基礎的知識の習得

● 眼科診断、ことに検査に関する技能の習得

● 眼科治療に関する技能の習得

※関与する眼科手術100例以上(外眼手術、内眼手術、およびレーザー手術が、それぞれ執刀者として20例以上を含む)

● 症例検討会、眼病理検討会および抄読会等の出席

● 眼科に関する論文を単独または筆頭著者として1篇以上および学会、報告を演者として2報以上発表

脳神経外科

▶ 基幹型施設名

名古屋大学医学部附属病院

研修内容

当院には救命救急センターが併設されています。このため関市のみならず美濃市、郡上市などから脳卒中、頭部外傷の患者さんが搬送され、SCUにて救急医と共に24時間対応をしています。くも膜下出血に対するクリッピング術、脳出血に対する血腫除去術、頭部外傷に対する減圧手術などの緊急手術、未破裂脳動脈瘤に対するキーホールクリッピング術、頭蓋内外血管吻合術、頸動脈血栓内膜剥離術や頸動脈ステント留置術などの予防的治療も適応に従って行っています。

血管内治療専門医は常勤ではありませんが、動脈瘤のコイル塞栓術、脳梗塞急性期における血栓溶解療法などについては基幹病院である名古屋大学から適時専門医を派遣してもらい行っています。脳腫瘍、三叉神経痛、顔面けいれんなどに対してはナビゲーションシステム、術中モニタリングを活用し、安全、確実な手術を心がけています。

2016年の手術は191件あり、専門医受検に必要な症例はほぼ経験できます。当院で後期研修を終了した医師は、名古屋大学へ帰局後1年程度で全員専門医試験に合格しています。是非当院と一緒に仕事をしましょう。

放射線科

▶ 基幹型施設名

岐阜大学医学部附属病院

研修内容

放射線科の業務は、画像診断部門と放射線治療部門が2本柱となります。画像診断部門では、①CTやMRI、単純X線写真などの画像診断、②核医学検査、③IVR(Interventional Radiology)に大別されます。放射線治療分野では、通常行われる外部放射線治療に加え、画像誘導放射線治療(IGRT)装置による高精度な定位放射線治療を行っています。

当科は放射線科診断専門医2名が常勤医として診療しており、CTやMRI検査の画像診断、SPECTやPET-CT等の核医学検査、IVR-CT装置を用いたIVR治療を行っています。

近年、画像診断機器は高度化しており、画像診断の重要性はますます高まっています。新たな画像診断機器や画像解析方法も次々に導入されており、それに伴い臨床医や放射線科医に求められる知識も高度化しています。岐阜大学病院放射線科や関連施設とのネットカンファレンスを行っており、常に知識のブラッシュアップを行える環境を構築しています。

処遇・待遇

研修終了後の進路について

専門研修終了後、当院での継続勤務を希望される方には、常勤医として継続雇用が可能です。

院内保育所

保育時間 7:00～19:00 (院内保育所管理規定による)

通勤または住居手当

通勤手当有/住居手当有

※参考 関市内のアパートの家賃は1K～2LDKで4～6万円程度

給与

- 身分：常勤医師
- 給与：3年目 13,200,000円/年収(賞与・諸手当込、平成28年度実績平均)
4年目 14,450,000円/年収(賞与・諸手当込、平成28年度実績平均)
※注 宿日直回数及び超過勤務時間により変動します
諸手当：医師手当、研究手当、宿日直手当、超過勤務手当、通勤手当、住居手当、家族手当等)
賞与：年3回 本給の6.1ヶ月分(平成28年度実績)
休日：週休2日制
- 健康保険、厚生年金、医師賠償保険は当院で加入
- 有給休暇は初年度10日間、2年目以降11日間
※連携施設での研修期間は、研修先の病院規定に準じます。

お問い合わせ

病院見学を随時受付しております。当院ホームページ見学申込みフォームに必要事項をご記入のうえ送信してください。

お問い合わせ先

〒501-3802

岐阜県関市若草通5-1

JA岐阜厚生連 中濃厚生病院

企画総務課

TEL:0575-22-2211

FAX:0575-24-7139

Email:soumu5@chuno.gfkosei.or.jp



アクセス

Access Map

◇ 自動車でお越しの場合

- ・東海北陸自動車道 関I・C 美濃I・Cより車で約10分

◇ 公共交通機関でお越しの場合

- ・長良川鉄道 関市役所前駅下車 徒歩約15分
- ・岐阜バス 関市役所前わかさプラザバス停下車 徒歩約10分
- ・岐阜バス(関東山線)→安桜公園前下車徒歩20分



18y065Z200

医学会の専門医教育施設の認定

日本内科学会、日本血液学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本糖尿病学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本腎臓学会、日本循環器学会、日本呼吸器学会、日本外科学会、日本乳癌学会、日本消化器外科学会、日本整形外科学会、日本脳神経外科学会、日本泌尿器科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本麻酔科学会、日本透析医学会、日本救急医学会、日本消化器内視鏡学会、日本臨床腫瘍学会、日本がん治療認定医機構、日本病院会、日本超音波医学会、日本医学放射線学会、日本リウマチ学会、日本脳卒中学会、日本皮膚科学会、日本眼科学会、日本小児科学会、日本感染症学会



JA岐阜厚生連

中濃厚生病院